

## 取付・取扱説明書

### はじめに

この度は、D-SPORT車高調キットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
 本書は、車高調キットの取付取り扱いについての要領と注意を記載してあります。安全に正しく装着・ご使用していただくために、装着作業前・ご使用前にこの取付・取扱説明書を最後までお読みいただき、装着上の注意事項、本車高調キットの性能などについて充分にご理解の上、正しく使用していただくようお願いいたします。  
 なお、本書は必ずいつでも取り出して読めるように車内に保管してください。  
 本製品は購入日より一年以内に正規の使用状況に於いて製品上の問題があった場合のみに限り保証の対象となります。  
 購入記録(購入日、購入内容の証明となる物)は大切に保管してください。違法な改造車輛(エンジン、駆動系、懸架装置などの改造)、他社製の部品を用いての改造変更などを行っての装着、日常点検を怠ったために発生した故障などにつきましては一切の責任をおいかねます。

### 【取付作業をされる方へ】

取付作業前に本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行なってください。

取付作業終了後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

### 適合車種

| 車名  | 型式               | 適応年式                | エンジン型式 | 駆動型式 | トランスミッション | 品番         |
|-----|------------------|---------------------|--------|------|-----------|------------|
| コペン | LA400K<br>LA400A | 2014年6月～            | KF     | 2WD  | CVT/MT    | 48540-B240 |
| コペン | L880K            | 2002年6月～<br>2012年8月 | JB     | 2WD  | AT/MT     | 48540-B080 |

### 安全上のご注意

**警告** この内容に従わず、誤った取付、取扱を行なうと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

**注意** この内容に従わず、誤った取付、取扱を行なうと、人が傷害を負ったり製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

### 警告

- 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で行なってください。
- 本商品は、適応車種以外には絶対に使用しないでください。破損や故障により、重大な事故を招く場合があります。
- 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行なってください。不安定な場所での作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因になります。
- エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付けを行なう際は、必ず各部が冷えていることを十分確認後行なってください。熱い状態で作業を行なうと、ヤケド等の重大な傷害を負う場合があります。
- 本書記載部品以外は必ず自動車メーカー作成の整備要領書に従ってください。適合商品以外を誤って装着されますとハンドル操作に悪影響を及ぼし、重大な事故につながる恐れがありますので、必ず適合に間違いがないか確認してください。また、車両に付いている純正のボルト・ナット等を再使用する部分については、ボルト・ナットが錆びたり劣化したりしている場合、必ず新品に交換してください。
- 取付けの際は、必ず指定トルクに従って各ボルト・ナット類を十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩んで脱落などにより重大な事故を招く恐れがあります。
- 交換は必ず左右セットで行ってください。左右セットで交換しないとハンドリングに悪影響を及ぼし重大な事故につながる恐れがあります。
- 本製品の取り付け、取り外し、車高調整を行う際は車載ジャッキなどを用いた不安定な状態での車体持ち上げは行わないようにしてください。車体が落下して怪我をしたり、最悪の場合、死亡する恐れがあります。
- 必ず自動車用リフトの使用や平らな場所でリジトラックを使用し、車体の安定を確認の上で作業を行ってください。
- 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件、取扱条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業やご使用に際しては十分にご注意ください。
- 車体の構造やタイヤのサイズアップ、ホイールのオフセット、ロアシート位置の変更などにより、タイヤ・ホイールがダンパーASSYおよび車体に干渉する場合がございます。その場合はオフセット量の変更やロアシート位置の再調整などを行い、干渉しないようにご確認の上、ご使用ください。
- 本商品への改造、加工は絶対に行なわないでください。破損や重大な事故の原因となる場合があります。
- 本製品には可燃性オイルの他、高圧ガスが封入されていますので絶対に分解したり火中に投げたりしないでください。廃棄される際は専門業者に委託してください。

## ⚠ 注意

- 他社製品による改造箇所がある車両では、場合によっては本商品本来の性能を十分に発揮できないことがあります。
- 本商品は、取付け、交換の際は、必ず該当車両の修理書に従い、本書の注意事項を守って作業を行なってください。
- 装着初期は、ボルト・ナットが緩みやすいので、走行前に必ず増し締めを行なってください。
- 本商品は保安基準適合パーツですが、他の商品と組み合わせて使用することにより、保安基準に適合しなくなる場合があります。
- 本製品を装着されますとアライメントが変化します。測定設備の整った自動車整備工場に依頼し必ず測定、調整を行ってください。その際、著しくローダウンされている場合、規定のアライメント値にならない場合がございますのでご注意ください。
- バンプラバーを取り外したり加工して使用されますとショックアブソーバー本体と車輛部品が干渉し、重大な事故につながる恐れがあります。
- 本製品は工場出荷時に予めアッセンブリーしておりますが、アップマウント部のトップナット以外は仮り締め状態です。車輛への装着後は必ず別途記載の推奨トルクにて本締めを行ってください。各部の締め付けが不十分な場合、異音の発生原因や破損につながります。
- 本商品は過去に事故歴がないクルマに確実に装着ができます。
- 本商品到着後はすぐに、本体に損傷がないか、記載の付属品が全部揃っているかを検品してください。
- 自動車の懸架装置を変更する際、改造自動車等届出書類及び自動車車検証の記載変更手続きの必要はございませんが交換運用される際はご使用者自身が道路運送車輛法の保安基準をご理解の上、自主管理を行ってください。
- 本製品は全長調整による車高調整機能を備えています。一般公道を走行される場合は必ず最低地上高が90mm以上確保されているかをご確認ください。基準に満たない場合、法規に違反する他、車体や本製品に悪影響を及ぼします。
- その際、本製品が破損しましてもクレーム対象となりません。予めご了承ください。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。海外ではご使用にならないでください。海外で起こったクレームは如何なる場合も対応いたしません。
- 本製品は改造車輛に適合するものではございません。装着される場合は法令で定められた改造申請等の届け出を行い検査合格後にご使用ください。但し、車輛が破損いたしましても弊社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 本製品の改造や加工は絶対に行わないでください。改造や加工の痕跡がありますと保証の対象外となります。予めご了承ください。

## ご使用上のご注意

### ⚠ 警告

- タイヤ、ホイールのサイズ変更をされた車輛への装着又はサイズ変更される際は本製品に接触や干渉のないことを必ずご確認ください。接触したままで走行しますとタイヤがバーストして事故につながる恐れがあります。
- ショックアブソーバー本体には高圧窒素ガスが封入されていますので加工、分解、高温または火気により爆発する恐れがあります。
- 急発進、急制動や急旋回などの無理な走行、乱暴な運転は本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故の発生をも誘発することになりますので絶対におやめください。
- 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでおやめください。
- 本商品装着後に衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形、破損や故障を生じる場合がありますので、ただちにご使用をおやめください。
- 走行中に異常な振動や音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、取付部分をよく点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。

### ⚠ 注意

- タイヤチェーンを使用される際はゴム製のネットチェーンをお勧めいたします。スチールチェーンを装着され本製品と干渉しますと本製品の破損につながります。また積雪路の走行後は直ちに本製品に付着した汚れや融雪剤をよく洗い流してください。放置しますとネジ部の固着原因となります。
- 凹凸のひどい悪路を走行された場合は直ちに安全な場所に停車し本製品に異常がないかご確認ください。万が一、異常がある場合は購入ショップ又は自動車整備工場の専門家による点検を行ってください。

## 車高調整方法

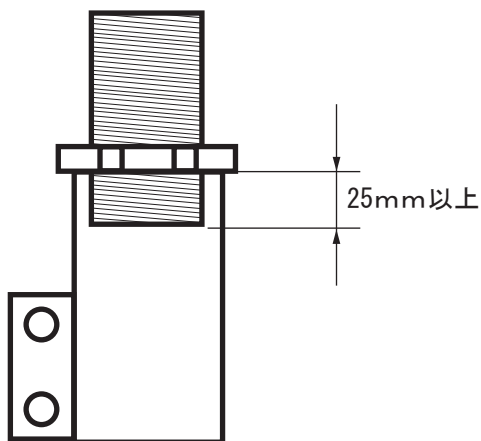
□本製品の車高調整はロアブラケットを回転してダンパー全長の変更により行います。  
下記の注意事項をよく確認された上で慎重に作業を行ってください。

### 警告

- 本製品は弊社開発車輛の開発データの推奨車高値(最低地上高90mm確保状態)にて予め組み立てて出荷しておりますが、装着車輛(現車)の年式、グレード、装着物(特殊なオーディオ)など車輛重量により、車高が異なる場合があります。車高調整後は必ず車高調整を行い最低地上高が法規で定められている90mm以上を確保されているかご確認の上、ご使用ください。
- 本製品に装着されているスプリングは全て新品状態のため慣らしは行っておりません。新品スプリングには必ず初期の「へたり」症状が発生します。装着後、100Km程度の慣らし走行を行い必ず法規で定められている最低地上高90mm以上が保たれるように再度、車高調整を行ってください。

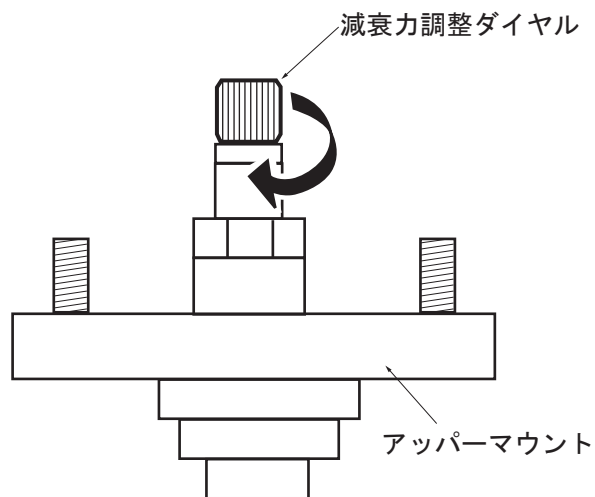
1. 車輛を水平な場所で必ずリジトラックを使用してジャッキアップし、タイヤ・ホイールを取り外してください。
2. 車高調整は必ず車高調を車輛から取り外して行ってください。装着したまま不安定な状態で作業しますと怪我や車高調、車輛の破損につながる恐れがあります。
3. ロアブラケット・ロックリングを車高調レンチを使用して緩めてください。緩める際には必ずダンパーネジ部をパーツクリーナーなどで清掃し、ほこりや砂利を取り除き固着対策を行ってください。
4. 本製品のロアブラケットは一回転で2mm全長が変化します。但しタイヤ側では車輛のレバー比により車高の変化量が変わりますのでご注意ください。要するにダンパー全長の変化量 = 車高の変化量ではございません。車高の変化量を求めるには、ロアブラケットの変化量×車輛のレバー比で算出してください。
5. 車高調整の際、ロアブラケットの調整範囲(最短、最長サイズ)をご確認の上で調整作業を行ってください。誤った位置で調整されますと走行中に破断し、最悪の場合、事故につながる恐れがあります。
6. 車高調整終了後、ロアブラケットロックリングは、必ず規定トルクにて増し締め作業を行ってください。

推奨締め付けトルク : 【ストラットタイプ = 10.0kgf-m】



●ロアブラケットとシェルケースは、必ずかみ合い量を守ってください。

## 減衰力調整方法



- 減衰力調整ダイヤルを時計廻り方向(右側)に廻すと最強(ハード)になります。

### ⚠注意

- 本製品の減衰力は24段ニードル式を採用しています。減衰力調整ダイヤルは精密部品なので絞め過ぎや、緩め過ぎますと破損する恐れがあります。調整の際、固着している場合は無理に廻さずにオイルスプレー(潤滑剤)などを塗布し、動きを良くしてから作業してください。
- 減衰力調整段数は24段クリック式です。時計廻り方向(右側)に廻して止まった位置が最強(ハード)となります。減衰力を調整される際は必ず一旦、時計廻り方向(右側)に廻し、最強位置にした後に、左廻し(ソフト)方向に戻しながら行ってください。

|          |   |
|----------|---|
| ハード(右廻し) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主にワインディングや高速走行時にお勧めします。</li> <li>・ハンドル応答性が向上し、ロールが抑制できます。</li> <li>・スプリングをハードタイプに変更した場合に有効です。</li> </ul>        |
| 標準(出荷時)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品出荷時の基本減衰力の位置です。</li> <li>・最強(ハード)位置から10~12段戻した位置が標準値です。</li> <li>・セッティング開始の基準として調整を行ってください。</li> </ul>        |
| ソフト(左廻し) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主に市街地走行や乗り心地を優先させる際にお勧めします。</li> <li>・ウェット路面や積雪路走行に有効となります。</li> <li>・トラクションを掛けたい車軸側をソフト側にセッティングします。</li> </ul> |

# 組立図

## トップナット

トップナットの締め付けはインパクトレンチを使用し4.0~5.0kgf-mのトルクで断続締めを行ってください。締め過ぎますとシャフト折れの原因となります。

## スタットボルト

ナットの締め過ぎにご注意ください。締め過ぎますとボルト破断の原因となります。インパクトレンチは使用しないでください。

## リジットベアリング・アップアマウント

## リジットベアリング

リジットベアリングのベアリング部は工業用の回転ベアリングを使用しており、消耗します。ガタによる異音発生時は交換が必要です。

## シャフトカラー

## スプリング・アップシート

## ダストブーツ

## バンブラバー

バンブラバーはカットしないでください。底突きの原因となり、最悪の場合ショックが破損します。

## 減衰力調整ダイヤル

ダイヤル部は精密部品で構成されています。締め過ぎますと破損の恐れがあります。固着などにより硬くなった場合は潤滑スプレーを塗布した後、しばらくしてから廻してください。

## スプリングセット長

スプリングのセット長はスプリング自由長-8mm以内でテンション調整を行ってください。テンションを掛け過ぎますとリバンプ時に異音が発生したり、破損の原因となります。スプリングセット長の変更はリバンプストロークの調整です。バンンプストロークの変更は必ずスプリングレートの変更で行ってください。

## ピストンロッド

ピストンロッドは工具などでつかまないでください。傷がつきますとオイル漏れや破損の原因となります。走行時のストロークにより封入した作動グリスが付着しますが機能上問題ございません。(オイル漏れではございません)

## スプリングシート

## シェルケース

防錆促進のため定期的に清掃と潤滑スプレーなどの塗布を行ってください。

## スプリングシート・ロックリング

スプリングシートとスプリングシート・ロックリングは共締めで固定してください。また、定期的に増し締め点検を行ってください。推奨締め付けトルク：7.0~8.0kgf-m

## ロアブラケット

## ロアブラケット・ロックリング

車高調レンチを使用して確実に締め付けてください。緩みがあると、異音の原因となります。また、定期的に増し締め点検を行ってください。推奨締め付けトルク：9.0~10.0kgf-m

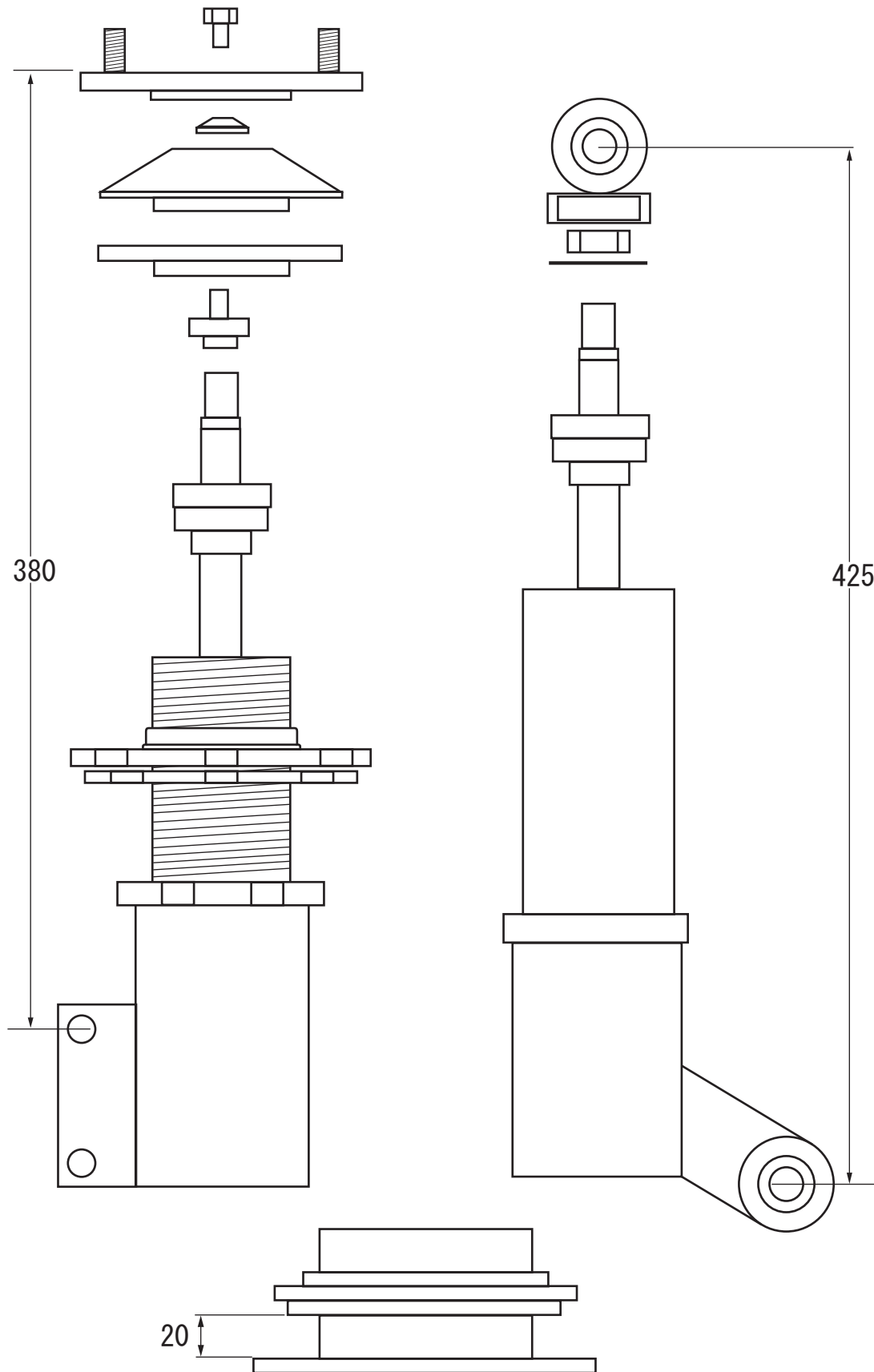


推奨車高設定

<L880K>

|            |             |
|------------|-------------|
| 推奨セット時ダウン量 | フロント：約-10mm |
|            | リア：約-10mm   |

|       |                |
|-------|----------------|
| 車高調整幅 | フロント：約-5~-55mm |
|       | リア：約-10~-50mm  |



推奨車高設定

<LA400K>

|            |             |
|------------|-------------|
| 推奨セット時ダウン量 | フロント：約-10mm |
|            | リア：約-10mm   |

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 車高調整幅 | フロント：約-10~-60mm |
|       | リア：約-10~-55mm   |

